



## 文化の秋 スポーツの秋 学習の秋 吉里中生の活躍 続々と

9月中旬までは酷暑の名残もあり、滴り落ちる汗を拭いながら水分補給をして過ごす毎日でしたが、下旬に入った途端、雨と風、そして朝晩の急激な涼しさに秋の到来を感じるようになりました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

さて、「秋」といえば『〇〇の秋』と称されますが、どんな秋を連想されますか？ 本校では今まさに、『成長の秋』と言える毎日をご過ごしています。生徒も先生方も、いくつもの課題や目標に向かって努力を積み重ね、「成長の階段」を一步ずつ確実に昇っているように思います。ご報告が遅くなりましたが生徒たちの活躍を振り返り、また今後の予定等もお知らせいたします。

- ① 越田久美子さん（9年）「わたしの主張」地区大会において優良賞 受賞!
- ② 7・8年生 地区新人大会で躍進!
- ③ 9年生、実力テスト9月号で自己の成長を実感
- ④ 生徒会役員選挙に向けて、次期リーダーへの期待と応援体制を確立
- ⑤ 郷土芸能伝承活動発表会&合唱披露に向けて



ほかにも毎日のように行事や各取り組みに追われていますが、「目指す姿」を見失うことのないように声を掛け合いながら頑張っています。ご家庭でも是非話題にいただき、ご声援をお願いいたします。



<地区新人大会(9/12)結果> ※野球は雨天順延のため9/15

- 野球 1回戦 vs 大平・唐丹 7-0 勝(5回コールド)  
決勝 vs 釜石・甲子 6-2 優勝(県大会出場)
- 卓球 団体 1回戦vs大槌学園 3-2 勝  
決勝vs 甲子 1-3 惜敗 第2位  
個人 佐野道太郎 優勝(県大会出場)  
佐藤 修 ベスト8  
黒澤 遼 倉本優雅 1回戦敗退  
倉本 美侑 ベスト8
- 女子バレー 1回戦vs 甲子 0-2 惜敗
- 男子バレーは釜石中との合同チームにより県大会出場決定

☆ 「わたしの主張」地区大会で発表した越田久美子さんの原稿です。家族の絆や様々な経験を通して培った地域への想いを素直な言葉で表現しています。ぜひご覧ください。

## 『私の生きる道』

大槌町立吉里吉里中学校 三年 越田 久美子

今の日本は「新型コロナウイルス感染の恐怖」「地震や豪雨による災害の恐怖」など、いつ自分達に降りかかってくるのか分からない状況にあります。

そして私の住む「吉里吉里」は少子高齢化社会の象徴のような町です。このように世の中は未来に夢を持っていないような状況にあります。しかし、私は祖母と母の姿を見て、吉里吉里の町で地域と共に生きていこうと強く思っています。

皆さんは「墓じまい」という言葉を知っていますか。墓じまいとは、お墓を守る人がいないという理由でお墓を撤去するという事です。吉里吉里の吉祥寺の高橋和尚さんからお話を伺うと、吉里吉里のお寺にも一年で十五件ほど相談があると聞きました。

私は小さい頃から祖母に「この家の墓守ってね」「この家継いでってね」と子守り歌のように言われて来ました。

私の家は私と母と祖母の三人家族です。そのため祖母は大人になってから急に後継ぎの話をしてもらえなくて受け入れがたいだろうと考え、小さい頃から話してきたそうです。祖母はよく、「私たちの命は先祖がいたからこそあるんだよ。先祖が代々残してきたものがあるから今の生活が出来るのだよ」と話します。

私の母は四人兄弟の長女で私の叔父となる弟がいました。しかし、交通事故で二十才の若さで亡くなりました。その時から、東京で看護師をしていた母は「いつか実家に戻り、私がお家を継いでいかなければならない」と思い、吉里吉里に帰ってきたそうです。

この祖母の思いと母の話から、「墓を守っていこう」という気持ちが芽生えたことは確かです。そして地域のひとと地域を守ろうと思わせたのは母でした。

東日本大震災の時、私は五才で家族と避難所にいました。その時、「この中に看護師さんはいませんか」の声に手を挙げていた母がいました。この時から、私と母は離れて生活したことを覚えています。

道路が寸断された中、避難所からの要請があり、三か所を毎日行き来して、地域の方々と戦い抜いたそうです。

今、新型コロナウイルス感染の恐怖が私たちを襲っています。ニュースでは、医療従事者家族が会えない状況や過酷な労働の中頑張っている姿が伝えられています。

母は「他人事じゃないからね。私が看護師という職業だから家に帰れなくなることも覚悟しておきなさい」と言います。この言葉に母が仕事をする事の「覚悟」、地域の命を守るため身をなげうってでも貢献しようとする姿にたくましさを感じました。

吉里吉里のような小さい町では、若者が地元に戻ってこないというのが課題となっています。地元を離れ、学業や社会性を学び、数々の経験と色々な出会いをすることはとても貴重なことだと思います。

それと同じくらい、生まれ育った地で、地域のひとと手を取り合い、地域のために生きていくことも素敵なことだと思います。災害があれば、みんなで力を合わせ地域の命を守る。

若い人たちが、故郷を懐かしく思った時、いつでも帰って来られるよう、地域の行事を絶やさずに守っていく。そういう生き方を私はしていきたいのです。私の考えに共感する同世代の人は少ないでしょう。でも私は、必ず吉里吉里に戻ってきて、祖母のように先祖を敬いながら墓を守り、母のように地域のためにできる限り、力を尽くしていきたいと思います。それが私の生きる道です。

## <10月行事予定>

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 1 (木) 衣替え 視力検査 (7年)     | 15 (木) 職員会議 虎舞夜間練習 |
| 2 (金) 英検 視力検査 (8年)      | 16 (金) 郷土芸能④       |
| 3 (土) 吉里吉里花火大会          | 17 (土) 県新人大会 (野球)  |
| 6 (月) 生徒朝会 郷土芸能②        | 20 (火) 郷土芸能リハーサル   |
| 7 (火) 虎舞夜間練習            | 22 (木) 郷土芸能&合唱披露   |
| 8 (水) 生徒会役員選挙立会演説会      | 24 (土) 吉里中芸術祭      |
| 13 (火) 全校朝会 (認証式) 郷土芸能③ |                    |
| 14 (水) 9年実力テスト 虎舞夜間練習   |                    |

